

# はじめに

この防災マップは、これまでに経験したことのないような大雨により、国近川・大井手川・神寄川および長尾谷川が氾濫した場合に想定される浸水の範囲や深さ、洪水時の避難所などを示したものです。

松前町は、低く平坦な地形が広がっており、ひとたび洪水が発生すると氾濫水が広範囲に渡って広がり、河川から離れた地域でも浸水するおそれがあります。

防災対策の第一歩は、自分たちの地域でどのような災害が想定されているか知ることから始まります。この防災マップを活用して、地域や家族で「避難方法」や「危険な場所」などについて話し合い、予測困難な自然災害に備えましょう。



松前町では、河川ごとに防災マップを作成しています。重信川や大谷川が氾濫した場合に想定される浸水の範囲や深さは、松前町ホームページの総合防災マップ風水害編 および 総合防災マップ風水害編(大谷川)をご確認ください。

総合防災マップ風水害編  
総合防災マップ風水害編(大谷川)



## 他の災害にも備える

町のホームページで防災マップを確認できます。

松前町ホームページ  
防災マップ関連



総合防災マップ高潮編



総合防災マップ津波編

松前町ホームページ  
ため池ハザードマップ



ため池ハザードマップ

## 本マップの使い方

### 1 家の位置を確認し、 周りの危険性を把握しよう

あなたの家の位置をマップに書き込んで、災害リスク（浸水想定区域）を確認しましょう。  
家の周りに河川や用水路などの危険な場所がないか把握しておきましょう。



### 2 避難行動を確認し、 避難先を選ぼう

とるべき避難行動を紙面左下の「防災マップを確認」で確認しましょう。  
最寄りの避難先を複数選びましょう。



### 3 実際に避難先まで 歩いてみよう

選択したそれぞれの避難先までの経路を地図で確認しましょう。  
また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



### 4 災害や避難について、 話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難先や危険性を確認しましょう。



## マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに自分や家族が「いつ」「何をやるのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

